

【山梨県都留市】 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 (運動部活動の地域移行に向けた実証事業)

本報告書は、スポーツ庁の「令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）」の一環として、山梨県（都留市）が実施した「令和5年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果を取りまとめたものです。

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

山梨県都留市

●地域における現状・課題

- ・市内の中学校に通う生徒数は、減少傾向にあるが、各学校に設置されている部活動数の変化はあまりない。周辺の市町村の学校と合同チームを作るなどの工夫をして、大会に出場する状況がある。
- ・スポーツ・文化ともに運営団体・実施主体となる団体・組織がまだ決まっていないため、地域協議会や教育委員会が中心となり、体制整備を進めている。

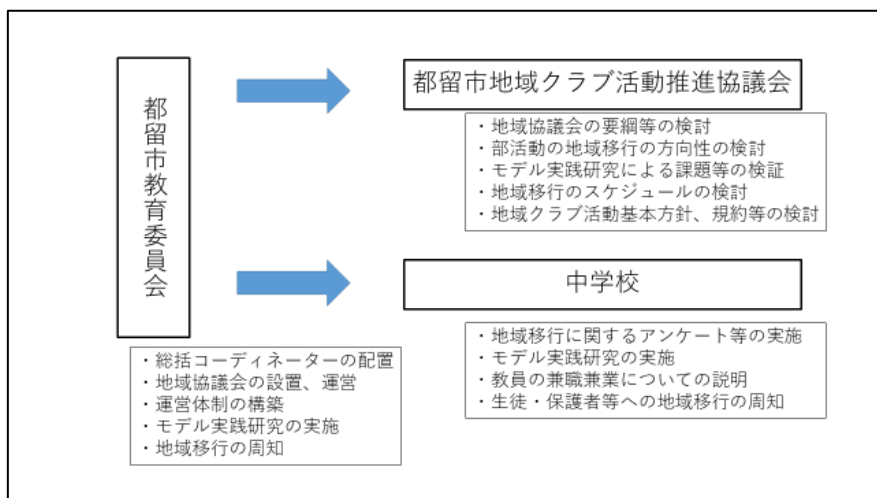
●取組事項の概要

- ・本年度より、関係者間の連絡調整等を行う総括コーディネーターを配置した。
- ・都留市地域クラブ活動推進協議会を設置し、体制整備に向けた取組を実施している。
- ・さまざまな機会を利用して、「部活動の地域移行」の内容を周知している。
- ・モデル実践研究を実施し、体制整備に向けた課題の把握等を行った。
- ・部活動指導員や外部指導者等との話し合いを実施した。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・都留市地域クラブ活動推進協議会の委員として、市内の大学教授を委嘱し、専門的な視点からのアドバイスをいただいている。
- ・モデル実践研究のモデルとして、市内中学校と隣村の中学校の合同チームを指定し、地域移行に向けた課題等の把握に取り組んだ。
- ・市内にある大学等との連携を意識した体制整備を進めている。指導者としての活用や合同の練習会の実施などに向け、準備を進めている。

●運営体制図（案）



●地域クラブ活動の体制整備に向けた取組

	会議・打合せ等	回数
1	都留市地域クラブ活動推進協議会	年3回
2	運営団体・実施主体との打合せ	4回
3	中学校長との打合せ	各校4回
4	中学校教員への説明	各校1回
5	教員の兼職兼業の説明	1回
6	小学校校長への説明	1回
7	新入生保護者への説明	各校1回
8	指導者との話し合い	1回

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	28930人	部活動数	36部活
公立中学校校数	3校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	648人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

山梨県の東部に位置する本市においても、少子化の影響が見られるようになってきた。部活動については、生徒数の減少とともに、部活動数の減少や合同部活動の実施、部員数の不足による大会参加の辞退など、生徒の活動が一部制限され始めている。

そこで、本市では、6月に都留市地域クラブ活動推進協議会（以下、地域協議会という）を立ち上げ、学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた体制整備を推進することにした。

令和5年度に行われた休日部活動の地域移行に向けた実態調査によると、小学校5・6年生においては、「教育委員会が準備している「地域クラブ活動」に参加したい」児童が23%、「県内や地元ですでにあるスポーツ活動・文化活動に参加したい」児童が49%、「県内や地元で開催するスポーツ・文化イベントや教室に参加したい」児童が28%だった。

中学1年生は、「教育委員会が準備している「地域クラブ活動」に参加したい」生徒が25%、「県内や地元ですでにあるスポーツ活動・文化活動に参加したい」生徒が52%、「県内や地元で開催するスポーツ・文化イベントや教室に参加したい」生徒が20%だった。

一方、地域活動の指導者として、兼職兼業の意向がある市内の小中学校の教員は、9%であった。指導者の人数が不足することが心配される。指導者の確保が大きな課題であると感じる。

また、地域クラブ活動への移行により、保護者の負担が増加する。経済的な支援や活動場所までの移動など保護者の負担軽減も課題である。

あなたは、休日の部活動が地域移行したら、休日どのような活動に参加したいと考えていますか？		
教育委員会が準備している『地域クラブ活動』に参加したい	64	23%
県内や地元ですでにあるクラブチームや道場などのスポーツ活動に参加したい	112	40%
県内や地元ですでにある音楽団や芸術教室などの文化活動に参加したい	26	9%
県内や地元で開催するスポーツイベントや教室に参加したい	53	19%
県内や地元で開催する文化イベントや教室に参加したい	26	9%
その他	1	0%
回答数	282	100%

令和5年度県アンケート結果(小学5・6年生)より

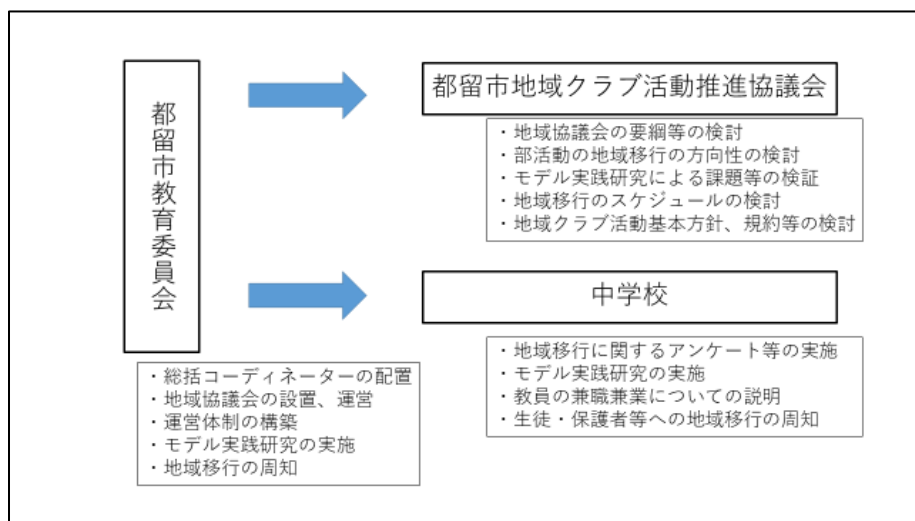
あなたは、休日の部活動が地域移行したら、休日どのような活動に参加したいと考えていますか？		
教育委員会が準備している『地域クラブ活動』に参加したい	31	25%
県内や地元ですでにあるクラブチームや道場などのスポーツ活動に参加したい	52	42%
県内や地元ですでにある音楽団や芸術教室などの文化活動に参加したい	13	10%
県内や地元で開催するスポーツイベントや教室に参加したい	15	12%
県内や地元で開催する文化イベントや教室に参加したい	10	8%
その他	3	2%
回答数	124	100%

令和5年度県アンケート結果(中学1年生)より

2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

● 教育委員会（生涯学習課）

- ・都留市地域協議会の運営を行う。
- ・地域クラブ活動の体制整備を推進する。
- ・学校や関係団体との連絡調整を行う。

● 教育委員会（学校教育課）

- ・児童・生徒、保護者、教員等に対し、部活動の地域連携並びに地域クラブ活動への移行の情報等を周知する。
- ・児童・生徒、保護者、教員等に対し、アンケート等を実施する。
- ・希望する教員等の兼職兼業の手続きの整備に取り組む。

年間の事業スケジュール

6月に第1回地域協議会を設置し、まず休日の運動部活動から地域クラブ活動への移行に向けた取組を本格的に開始した。本市では、運営団体として、都留市スポーツ協会、都留市文化協会、総合型地域スポーツクラブ（都留アスリート倶楽部）等を想定し、体制整備を進めるため、連絡調整を行った。

10月には、第2回地域協議会を開催し、地域クラブ活動の体制整備に向け、地域クラブ活動の基本方針や規約、来年度以降の地域移行のスケジュールなどについて話し合った。

今後、現在部活動指導員や外部指導者等が指導を行っている部活動から、地域クラブ活動への移行を目指し、体制整備を推進する。また、市内に設置されている大学等との連携を図り、大学生による指導や大学生と中学生が合同で活動する機会の創出などを検討する。

また、モデル実践研究として、市内中学校と隣村の中学校とで編成した軟式野球のチームをモデルチームに指定し、地域クラブ活動への移行を進める際の課題等の把握に取り組むことにした。

12月には、モデルチームで活動している生徒、保護者、指導者に対して、モデルチームでの活動の成果と課題を把握するために、アンケートを実施した。

2月の第3回都留市地域協議会で、アンケートの結果から出された成果と課題について話し合い、今後の地域クラブ活動の体制整備に生かしていく。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・総括コーディネーターの配置
- ・関係団体・市等との連絡調整等
- ・運営団体・実施主体の体制整備や質の確保

取組の成果

- ・総括コーディネーターを教育委員会生涯学習課スポーツ振興担当内に配置した。
- ・都留市地域クラブ活動推進協議会を設置し、学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた体制整備について検討した。さまざまな立場からの貴重な意見を聞くことができた。
- ・都留市スポーツ協会、都留市文化協会、都留アスリート倶楽部等と連絡調整を行い、運営団体・実施主体の整備に取り組んだ。都留市教育委員会が作成した原案をもとに現在検討を進めている。
- ・市内3中学校の校長や教職員及び市内7小学校の校長に対して、地域クラブ活動への移行についての説明や打合せを行った。多忙な教職員の意見を反映した体制整備を目指し、取組を進めている。
- ・中学校の新入生の保護者に対して地域クラブ活動への移行についての説明を行った。
- ・県一斉で実施された休日部活動の地域移行のアンケートを実施する際に、部活動の地域移行に関するチラシを配布し、部活動の地域移行の理解を深める取組を行った。今後アンケート結果を参考に、地域クラブ活動の体制整備を進める。
- ・部活動指導員や外部指導者等の指導者と部活動の地域移行について話し合う場を設定し、より良い体制づくりの推進を図った。
- ・地域クラブ活動の設立に向けて、活動方針や規約、指導者の研修などの準備に取り組んでいる。

	会議・打合せ等	回数
1	都留市地域クラブ活動推進協議会	年3回
2	運営団体・実施主体との打合せ	4回
3	中学校長との打合せ	各校4回
4	中学校教職員への説明	各校1回
5	教職員の兼職兼業の説明	1回
6	小学校校長への説明	1回
7	新入生保護者への説明	各校1回
8	指導者との話し合い	1回

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

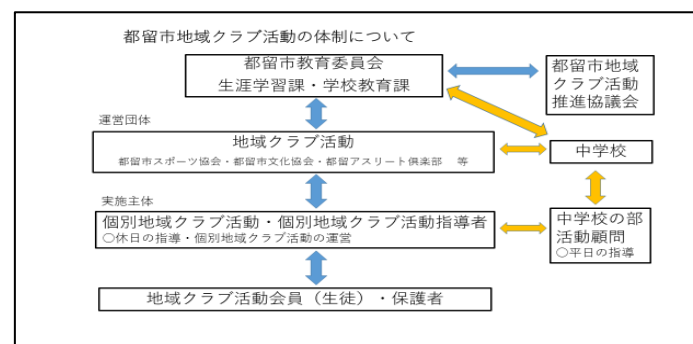
取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

特に工夫した事項

- ・総括コーディネーターが中心となり、体制整備を推進している。
- ・地域協議会の委員をさまざまな関係団体で構成した。(中学校長、運動部顧問代表、文化部顧問代表、大学教授(有識者)、スポーツ協会・文化協会・都留アスリート倶楽部・PTA連合会の代表、教育委員会(学校教育課・生涯学習課))
- ・運営団体である地域クラブ活動の下に、実施主体として個別地域クラブ活動を設置する。個別地域クラブ活動は、個々の競技や活動の特色を生かし、生徒・保護者等の意向を考慮した活動を行うことができる体制整備を目指す。
- ・学校部活動と地域クラブ活動が併存する期間は、学校単位での個別地域クラブ活動や複数の学校が合同で行う個別地域クラブ活動など、多様な個別地域クラブ活動を想定し、体制整備に取り組む。
- ・本市の特色である市内に設置されている3大学等との連携を図っている。(地域協議会の委員を委嘱、指導者としての協力や大学生と中学生が合同で活動する機会の実施等を予定)

会長（教育長）	有識者（大学教授）2名
中学校長3名	スポーツ協会1名
運動部顧問1名	文化協会1名
文化部顧問1名	都留アスリート倶楽部1名
小中体連代表（兼任）	PTA連合会1名
教育委員会（学校教育課・生涯学習課）8名	



都留市地域クラブ活動推進協議会資料より

今後の課題と対応方針

運営団体として、スポーツ協会、文化協会、都留アスリート倶楽部等を想定しているが、各団体間の連携協力にやや課題があり、体制整備と連携強化のために取り組んでいる。

市内の小中学校に勤務する教員で兼職兼業の申請を希望する教員は少なく、地域指導者の確保が課題である。スポーツ協会、文化協会からの支援を受け、指導者の確保に取り組んでいく。また、研修会等を通して、優れた指導力を有する指導者の育成にも取り組んでいく。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保証・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・部活動から地域クラブ活動への移行を進めるモデル実践研究の実施
- ・モデル実践研究として、隣村の中学校を含めた中学校が実施している軟式野球の合同チーム（都留クラブ）を指定
- ・モデル実践研究を通して、複数の中学校が合同で活動する成果や課題を検証
- ・モデル実践研究の検証結果を今後の地域移行の体制整備に生かす

取組の成果

- ・都留クラブは、市内A中学校から2名、B中学校から4名、隣村のC中学校から5名、合計11名で編成されている。
- ・休日は合同で練習を実施し、平日は各中学校で練習を実施した。
- ・都留クラブとして活動を行うことで、チームとしての練習ができるようになり、大会にも出場することができた。
- ・生徒、保護者、指導者の反省アンケート結果より、次のような成果が見られた。
- ・「人数が集まったこと」、「練習ができたこと」、「試合に出場することができたこと」が、大きな成果であった。中でも、「試合に出場することができたこと」は、生徒、保護者の活動意欲の向上に大きな影響を与えたように思う。
- ・生徒は、「他校の生徒との関わり」や「自身の上達・成長」に成果を感じているなど、学校部活動を通して育成を目指す教育的意義の習得が図られていることが伺える。
- ・指導者のアンケートからは、指導者の複数体制により、交代で休みを取ることができるなどの働き方改革に結びつく意見も見られた。

生徒 成果（良かった点）（調査人数5名）			
	項目	人数	%
1	他校の生徒と関われた	3	60
2	上手になった、成長できた、課題が改善できた	3	60
3	優しく強くなれた	1	20
4	アップや練習メニューが参考になった	1	20

保護者 成果（良かった点）（調査人数5名）			
	項目	人数	%
1	人数が集まった	4	80
2	試合ができた、野球を続けられた	2	40
3	練習ができた	2	40
4	他校の子たちと交流ができた	1	20
5	楽しそうにしていた	1	20

指導者 成果（良かった点）（調査人数2名）			
	項目	人数	%
1	大会出場	2	100
2	練習ができたことによる競技力の向上	2	100
3	子どもたちとのつながり	1	50
4	指導者の複数体制（交代での休み）	1	50

（反省アンケート結果より）

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保証・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組の成果

- ・生徒、保護者、指導者の反省アンケート結果より、次のような課題があることがわかった。
- ・共通して課題としてあげられたのは、「移動、保護者の送迎」と「練習時間が少ないこと」である。
- ・「移動、保護者の送迎」については、生徒、保護者、指導者ともに、活動場所が各中学校を順番に使用するなど広域化することで、活動場所までの移動やそれともなう保護者の送迎の負担が増加することに対する課題があげられた。より一層関係者の理解を深める取組を進めることが大事であると感じる。
- ・「練習時間が少ないこと」については、合同での練習が週一回の休日に限られ、チームとしての練習時間の不足を訴える声が複数あった。平日の合同練習ということも考えられるが、地理的な条件も考慮しなければならず、簡単には解決できない課題であるように感じる。
- ・指導者の課題の中に、「練習日の日程調整」という意見があった。各中学校の定期試験や授業参観などの行事日程が違うため、練習日を設定する際に考慮すべきさまざまな事項があることがわかった。

生徒 課題（悪かった点）		（調査人数5名）	
項目	人数	%	
1 移動、保護者の送迎	1	20	
2 練習時間が少ない	1	20	
3 名前を覚えるのが大変	1	20	
4 面倒くさがったり、口が悪い	1	20	

保護者 課題（悪かった点）		（調査人数5名）	
項目	人数	%	
1 移動、保護者の送迎	2	40	
2 練習時間が少ない	1	20	
3 人数が少ない	1	20	
4 まだわからない	1	20	

指導者 課題（悪かった点）		（調査人数2名）	
項目	人数	%	
1 移動	1	50	
2 練習時間が少ない	1	50	
3 練習日の日程調整	1	50	
4 生徒のモチベーションの差	1	50	

（反省アンケート結果より）

特に工夫した事項

- ・モデル実践研究を進めるために、新たな活動を実施すると、学校の負担が増え、働き方改革の面からも課題があるので、すでにある市内の合同部活動をモデルケースとした。
- ・12月に反省アンケートを実施し、生徒、保護者、指導者の成果と課題を聞き取り、今後の部活動の地域移行の参考となる貴重な意見を聞くことができた。

今後の課題と対応方針

- ・モデルケースとした合同部活動には、隣村の中学校の生徒も在籍している。地理的な課題も多く、保護者に大きな負担がかかることが予想された。練習場所までの移動が保護者の負担になることは予想されたことなので、今後の地域移行に向けた取組の参考としたい。

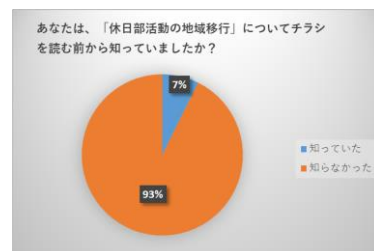
2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

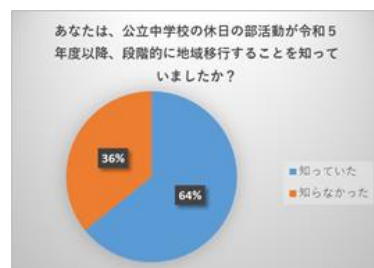
小学校

あなたは、「休日部活動の地域移行」についてチラシを読む前から知っていましたか？

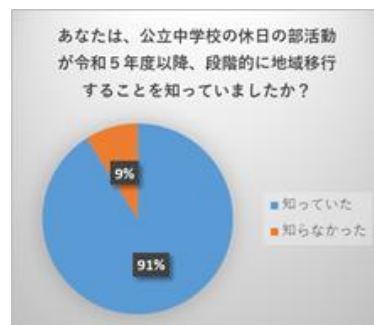
小学生	あなたは、「休日部活動の地域移行」についてチラシを読む前から知っていましたか？	%
知っていた	29	7%
知らなかった	366	93%
合計	395	100%



小学生保護者	あなたは、「休日部活動の地域移行」についてチラシを読む前から知っていましたか？	%
知っていた	115	64%
知らなかった	64	36%
合計	179	100%



小学校教員	あなたは、「休日部活動の地域移行」についてチラシを読む前から知っていましたか？	%
知っていた	101	91%
知らなかった	10	9%
合計	111	100%

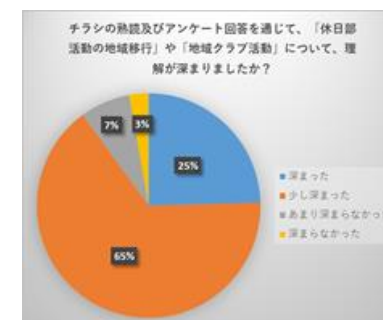


チラシを読み、アンケートを回答して、「休日部活動の地域移行」や「地域クラブ活動」のことがわかりましたか？

小学生	チラシを読み、アンケートを回答して、「休日部活動の地域移行」や「地域クラブ活動」のことがわかりましたか？	%
わかった	199	50%
少しわかった	169	43%
あまりわからなかった	20	5%
わからなかった	7	2%
合計	395	100%



小学生保護者	チラシを読み、アンケートを回答して、「休日部活動の地域移行」や「地域クラブ活動」のことがわかりましたか？	%
深まった	44	25%
少し深まった	117	65%
あまり深まらなかった	13	7%
深まらなかった	5	3%
合計	179	100%



小学校教員	チラシを読み、アンケートを回答して、「休日部活動の地域移行」や「地域クラブ活動」のことがわかりましたか？	%
深まった	41	37%
少し深まった	63	57%
あまり深まらなかった	7	6%
深まらなかった	0	0%
合計	111	100%



小学校は、チラシを読んでからアンケートを実施した結果、児童、保護者、教員ともに、「わかった、少しわかった」および「理解が深まった、理解が少し深まった」の割合が、大幅に改善し、すべて9割を超えた。

【休日部活動の地域移行の周知状況】

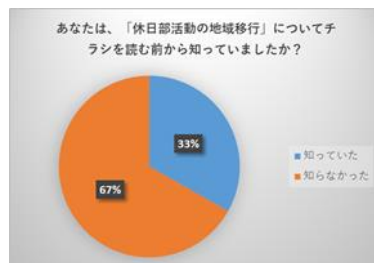
2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

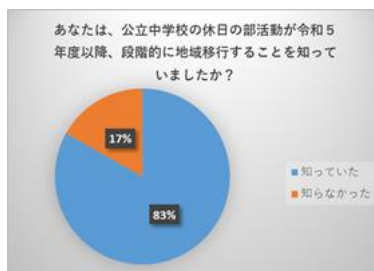
中学校

あなたは、「休日部活動の地域移行」についてチラシを読む前から知っていましたか？

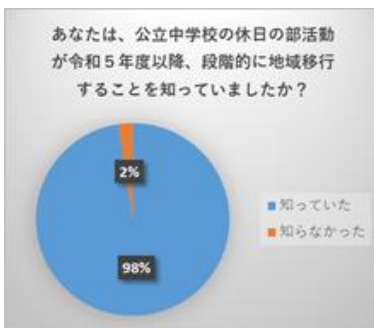
中学生	あなたは、	%
知っていた	64	33%
知らなかった	129	67%
合計	193	100%



中学生保護者	あなたは、	%
知っていた	89	83%
知らなかった	18	17%
合計	107	100%

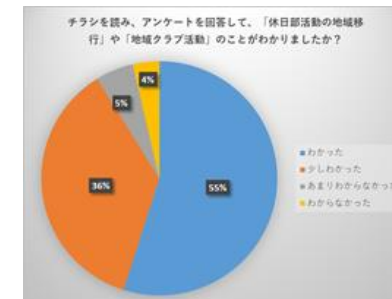


中学校教員	あなたは、	%
知っていた	41	98%
知らなかった	1	2%
合計	42	100%



チラシを読み、アンケートを回答して、「休日部活動の地域移行」や「地域クラブ活動」のことがわかりましたか？

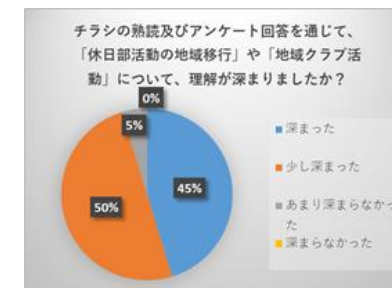
中学生	チラシを読み、アンケー	%
わかった	106	55%
少しわかった	70	36%
あまりわからなかった	10	5%
わからなかった	7	4%
回答数	193	100%



中学生保護者	チラシの	%
深まった	35	33%
少し深まった	51	48%
あまり深まらなかった	15	14%
深まらなかった	6	6%
合計	107	100%



中学校教員	チラシの	%
深まった	19	45%
少し深まった	21	50%
あまり深まらなかった	2	5%
深まらなかった	0	0%
合計	42	100%



中学校は、チラシを読んでからアンケートを実施した結果、「わかった、少しわかった」および「理解が深まった、理解が少し深まった」と答えた割合が、生徒、教員は9割を超えた。保護者はあまり変化が見られないが、8割は超えている。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

中学校部活動から地域クラブ活動へ

都留市教育委員会 生涯学習課
令和5年11月6日

◆休日における中学校部活動の地域クラブ活動への移行が始まります

【部活動の現状と課題、目指す方向性】

- ①部員数の減少により、大会・コンクール等への出場だけでなく日頃の練習にも支障が出るなど活動が縮小・制限されています。
- ▶学校単位の活動から地域の活動に変更することにより、参加を希望する生徒数の増加を図り、充実した活動環境を整備します。
- ②教員数の減少により、部活動を専門的に指導することができる教員が少なくなっています。
- ▶地域には、専門的な指導を行うことができる指導者が多くいます。その指導者の方々から専門的な指導を受けることにより、生徒はより高い技能等を身に付けることができます。
- ③部活動は教育課程外の活動で、必ずしも教員が担う必要のない業務です。現在部活動の指導は教員が行っていますが、時間外勤務の増加など大きな負担になっています。
- ▶休日の部活動を地域クラブ活動に移行することにより、教員の時間外勤務を短縮し、働き方改革を推進します。生み出された時間を利用して、授業準備、学校行事や教育相談など本来の学校業務や生徒と接する時間を増やすなど教育の質の向上を図ります。

◆都留市の目指す方向性

- ・令和5年度から令和7年度末の改革推進期間に、休日部活動の地域移行を段階的に進めます。「都留市地域クラブ活動推進協議会」を設置し、休日部活動の地域移行に向けた協議を進めています。
- ・これまで教師の献身的な支えにより担われてきた部活動の教育的な意義を継承・発展しつつ、持続可能で多様な活動環境の一体的な整備を目指します。
- ・「運動や文化活動をしたい生徒すべてが参加可能な、友達と楽しみながらできる活動」や「競技力向上やこれまで体験する機会が得られなかった活動」など、生徒の多様なニーズに応えるために、関係機関と連携を図りながら体制整備を進めます。

◆学校部活動の地域クラブ活動への移行で変わる主な変更点

これまでの学校部活動

- 【指導者】学校の教員（顧問）
地域の指導者（部活動指導員・外部指導者）
- 【活動場所】在籍する学校の施設
市内の体育施設・文化施設等
- 【対象】同じ学校の生徒
複数の学校による合同チーム
- 【経費】無料
- 【保険】学校で加入

目指す地域クラブ活動

- 【指導者】地域の指導者
希望する学校の教員（兼職兼業）
- 【活動場所】学校の施設
市内の体育施設・文化施設等
- 【対象】原則として地域の生徒
（市外の生徒も可）
- 【経費】指導者の報酬、会場使用料等
- 【保険】新たな保険に加入

◆今後の都留市の取組

- ・生徒の希望を最優先し、生徒の活動に不利益が及ばないように体制整備を目指します。
- ・すでに生徒が学校以外の場所で行っている活動は、それぞれの活動を地域の活動と考えることにします。
- ・令和6年度は、部活動指導員や外部指導者が指導を行っている部活動や、総合型地域スポーツクラブなどで実施している競技の部活動等から体制整備を進め、休日部活動の地域移行を目指します。
- ・令和7年度は、その他の休日部活動の地域移行を推進し、できるだけ早期にすべての休日部活動の地域移行の実現を目指します。
- ・現在部活動の大会やコンクール等への参加には、学校単位または合同チームなどの制限がある部活動があります。地域クラブ活動の参加に向けた体制整備を目指します。



都留市地域クラブ活動推進協議会の詳細は、都留市ホームページに掲載しています。

地域クラブ活動の指導者を募集します。

中学生の指導にご協力いただける方は、ぜひご連絡をお願いします。

（問い合わせ先）

都留市教育委員会 生涯学習課 TEL：0554-43-1111（内線216・217）

【都留市部活動地域移行チラシ】

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

モデル実践研究 反省アンケート 結果の考察			
<p>今回のモデル実践研究は、都留一中・都留二中・道志中（アンケートは市内の中学校のみ実施）の軟式野球の合同チームをモデルチームとして、研究に取り組んだ。反省アンケートにご協力していただいた方は、生徒（5名）、保護者（5名）、指導者（2名）である。</p>			
1. 合同で部活動を行うことの成果（良かった点）について			
生徒 成果（良かった点）（調査人数5名）			
項目	人数	%	
1 他校の生徒と関われた	3	60	
2 上手になった、成長できた、課題が改善できた	3	60	
3 優しく強くなれた	1	20	
4 アップや練習メニューが参考になった	1	20	
保護者 成果（良かった点）（調査人数5名）			
項目	人数	%	
1 人数が集まった	4	80	
2 試合ができた、野球を続けられた	2	40	
3 練習ができた	2	40	
4 他校の子たちと交流ができた	1	20	
5 楽しそうにしていた	1	20	
指導者 成果（良かった点）（調査人数2名）			
項目	人数	%	
1 大会出場	2	100	
2 練習ができたことによる競技力の向上	2	100	
3 子どもたちとのつながり	1	50	
4 指導者の複数体制（交代での休み）	1	50	
<p>生徒、保護者、指導者のアンケート結果より、「人数が集まったこと」、「練習ができたこと」、「試合に出場することができたこと」が、大きな成果であったように感じる。中でも、「試合に出場することができたこと」は、生徒、保護者の活動意欲の向上に大きな影響を与えたように思う。</p> <p>生徒は、「他校の生徒との関わり」や「自身の上達・成長」に成果を感じているなど、学校部活動を通して育成を目指す教育的意義の習得が図られていることが伺える。</p> <p>指導者のアンケートからは、指導者の複数体制により、交代で休みを取ることができるなどの働き方改革に結びつく意見も見られた。</p>			

【モデル実践研究 反省（成果）】

1. 合同で部活動を行ったことの課題（悪かった点）について			
生徒 課題（悪かった点）（調査人数5名）			
項目	人数	%	
1 移動、保護者の送迎	1	20	
2 練習時間が少ない	1	20	
3 名前を覚えるのが大変	1	20	
4 面倒くさがったり、口が悪い	1	20	
保護者 課題（悪かった点）（調査人数5名）			
項目	人数	%	
1 移動、保護者の送迎	2	40	
2 練習時間が少ない	1	20	
3 人数が少ない	1	20	
4 まだわからない	1	20	
指導者 課題（悪かった点）（調査人数2名）			
項目	人数	%	
1 移動	1	50	
2 練習時間が少ない	1	50	
3 練習日の日程調整	1	50	
4 生徒のモチベーションの差	1	50	
<p>生徒、保護者、指導者ともに課題としてあげられたのは、「移動、保護者の送迎」と「練習時間が少ないこと」である。</p> <p>「移動、保護者の送迎」については、生徒、保護者、指導者ともに、活動場所が各中学校を順番に使用するなど広域化することで、活動場所までの移動やそれにとまなう保護者の送迎の負担が増加することに対する課題があげられた。より一層関係者の理解を深める取組を進めることが大事であると感じる。</p> <p>「練習時間が少ないこと」については、合同での練習が週一回の休日に限られ、チームとしての練習時間の不足を訴える声が複数あった。平日の合同練習ということも考えられるが、地理的な条件も考慮しなければならず、簡単には解決できない課題であるように感じる。</p> <p>また、指導者の課題の中に、「練習日の日程調整」という意見があった。各中学校の定期試験や授業参観などの行事日程が違うため、練習日を設定する際に考慮すべきさまざまな事項があることがわかった。今後地域クラブ活動への移行を図る上での参考にしていきたい。</p>			

【モデル実践研究 反省（課題）】

2. 実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【都留市地域クラブ活動推進協議会】



【指導者への説明会】



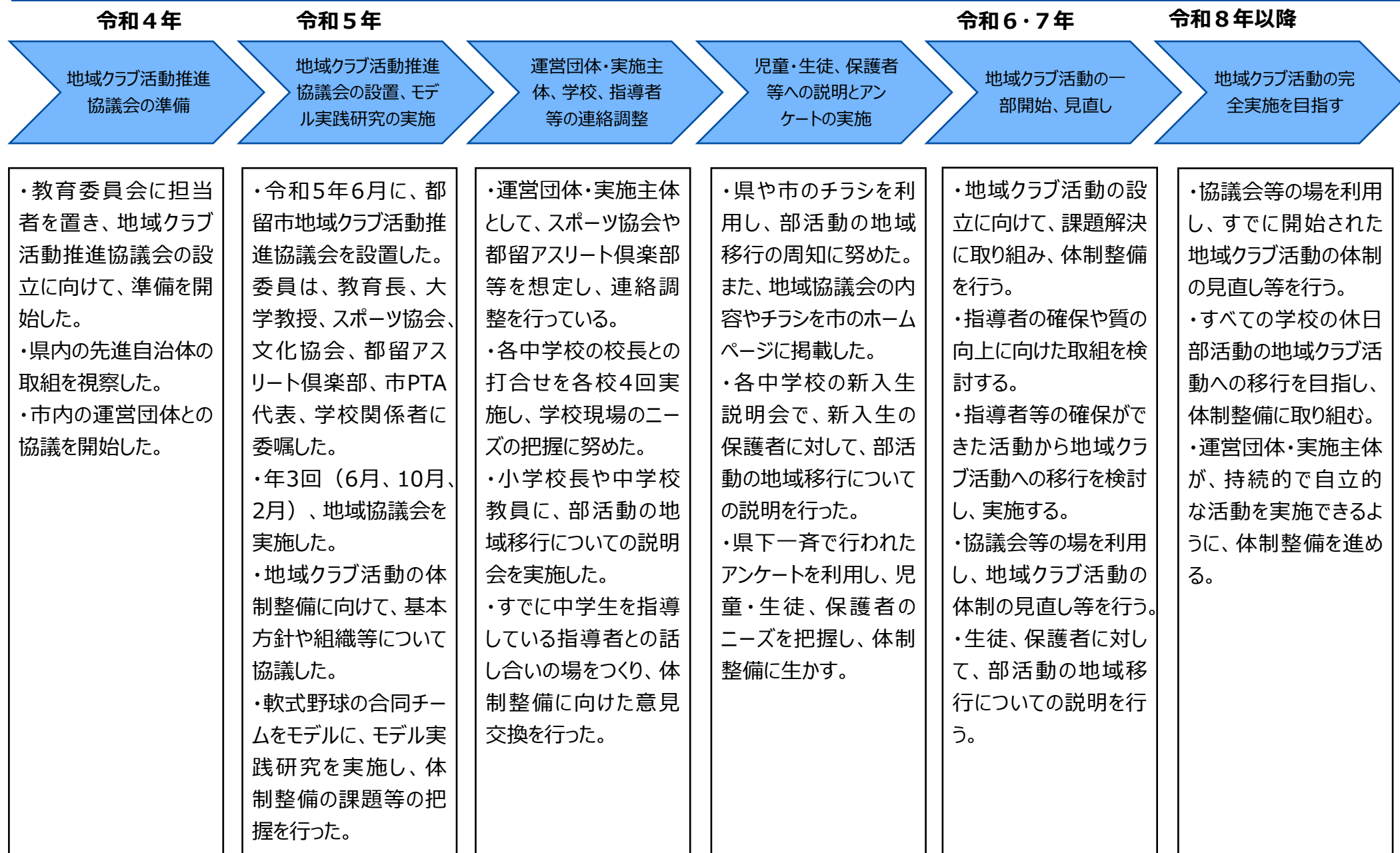
【モデル実践研究 練習の様子】



【モデル実践研究 県大会の様子】

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

都留市教育委員会 地域クラブ活動への移行スケジュール（案）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	R8以降
<p>都留市教育委員会 生涯学習課 学校教育課</p>	都留市地域クラブ活動推進協議会の設置準備	都留市地域クラブ活動推進協議会 活動方針、移行計画等の策定、見直し			<p>全ての休日部活動の 地域クラブ活動への移行を目指す</p>
	地域クラブ活動の設立準備	休日部活動の段階的な地域クラブ活動への移行			
	モデル実践研究の実施	すでに部活動指導員や外部指導者等が指導を行っている部活動を地域クラブ活動へ移行			
	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケートの実施 ○校長・教員との相談・説明 ○児童・生徒、保護者への説明 ○指導者等への説明 	まだ部活動指導員や外部指導者等の指導者がいない部活動を地域クラブ活動へ移行			
	運営団体・実施主体の体制整備				